

特別付録

Special Calendar 2016

2016スペシャルカレンダー



[TOP ISSUE]

AMAZING AUDI

驚きたっぷりアウディ4

アウディTT Sクーペ / RS6 アバント
A5 スポーツバック / A6

SUPER SPORT & EXOTICS
WHEEL CONSCIOUS FERRARI & PORSCHE

スーパースポーツ&エキゾチックス
ホイールコンシャスな
フェラーリ&ポルシェ

フェラーリ458 スペシャル
フェラーリF12ベルリネッタ
ポルシェ911GT3
ポルシェ911カレラ4

[SPECIAL FEATURE]

SEMA SHOW 2015

アメリカ・セマショー

ESSEN MOTOR SHOW 2015

ドイツ・エッセンモーターショー

es4

エスフォー
EUROMOTIVE MAGAZINE

60

2016 JANUARY

刺激的でセンス溢れる
ユーロスタイルを提案します

THE NICEST AUTOMOTIVE SCENES

ちょっと憧れちゃう系ユーロライフ

ポルシェ・ボクスターS
フォルクスワーゲン・パサートV6 4モーション

LADY'S EUROMOTIVE CAFE

アウディA3スポーツバック
フォルクスワーゲン・ゴルフVI GTI
ミニワン・クロスオーバー



STANCE NATION

Japan 6 Edition 2015 東京

スタンスネイションジャパン-Gエディション 東京

GEIBUN MOOK

GEIBUN MOOKS No.1019 2016年1月10日発行

2/4 [SPECIAL FEATURE] AMAZING AUDI 4 AUDI RS6 AVANT

CALL>>bond shop URAWA (ボンドショップ浦和) [048]851-4411 www.hosokawa.co.jp
PHOTO>>TOSHIO NOGUCHI (のぐちしお)

SPECIFICATIONS

AUDI RS6 AVANT

WHEEL HYPER FORGED WHEELS>> HF-LC5 F:22×11.0 R:22×11.0 Finish:Brushed Anodized Black Disk+Black Anodized Gloss
TIRE YOKOHAMA>>ADVAN SPORT F:295/25R22 R:295/25R22
KW>>Coilover Spring Kit

ホイールを替えるだけでここまでになれる

この風格、この圧倒的存在感。この姿を見れば、なぜ世界中でアウディ RS6 アバントが絶賛されているのか肌でわかってしまうが、この RS6 アバントの場合、それだけじゃない。A6 アバントや S6 アバントとは違う、V8 ツインターボ・560ps エンジンや総横幅で 60mm も広がっているプリスターフェンダーを生かすホイールがマウントされている。

それはハイパーフォージド HF-LC5 22 インチのディーブコンケーブだ。

アウディ RS6 アバントのようなクルマは、実はホイール選びが難しい。車重はカタログの状態で 2060kg。

つまりミッドサイズ SUV 並み。それでいて、560ps のターボパワーを 4WD で路面に叩き付けるハイパフォーマンスカーの性能を与えられているのだから、ふつうのパセッジャーカー用ホイールでは、強度に問題が出てくる。そしてステーションワゴンってことであれば、鍛造ホイールでもスポークの細身タイプデザインが好まれるから、昨年あたりから鍛造ホイールブランドが売り出ししてきた、SUV 対応の、軽量の細身スポークデザインで剛性が高く、しかも 22 インチというタイプを履くのがマスト。そして、信頼性の部分では、鍛造ホイールの中でも No.1 であるハイパーフォージド HF-LC5 が適任というわけだ。

サイズは前後とも 22×11.0 のディーブコンケーブフェイス。タイヤはアドバンスポーツ 295/25R22。フェンダーとの限界クリアランスを求めながら、ハイパフォーマンスカーのような動きをさせるには、これしかない! というセッティングだ。サスは KW コイルオーバーキットでこの車高になる。しかもハイパーフォージド HF-LC5 は、スポーツカーにも似合う 5 本ツインスポークデザインだ。

モディファイの手数は、わずかにホイール&タイヤとスプリングだけでもこの雰囲気。そのままだもカッコいい RS6 アバントを“劇的に”カッコよくしているのは、ホイールの効果が大きいのだ。

この圧倒的な存在感

工場明えにはたまらないエリアで抜群に引き立つ。



東京の臨海副都心の夜景を背景にパッチリ存在感を主張する。



このスタイリングはハイパーフォージド HF-LC5 の 22×11.0 とアドバンスポーツ 295/25R22 の組み合わせで実現する。サスペンションは KW コイルオーバーバースプリングを組んだ。



サイズは前後通し、ディーブコンケーブのフェイスは前後とも同じ。つまり前後とも一番反っているフェイスだ。

コンサバに見えて ちょっと違う、SBの5番

3/4 [SPECIAL FEATURE]
AMAZING AUDI 4

AUDI A5 SPORTBACK 2.0TFSI QUATTRO

OWNER>> 落合和宏サン CALL>> FRESH INC.(フレッシュインク) [048]556-8477
PHOTO>> RYOTA SATO(佐藤亮太) TEXT>> AKIO SATO(佐藤アキオ)



1 インセットまでオーダーできる鍛造 3 ピースくらいじゃ驚いたりしないが、クリアブラックのカラーまで細かくオーダーしたとなれば、ワランク上の注目度には、さらにその内側には、ストップテックのトロフィーキットまで忍ばせるからレベルは高い。2 20×10.5 の HF-C10、285/25R20 のピレリ P ゼロ、KW 車高調のハーモニーが生み出す、タイトすぎるフィットメントが美しい。3 フェイスリフト後モデル特有のシャープなフェイスは、S5 用グリルと ADD パフォーマンス製カーボンリップにてブラッシュアップを図る。

SPECIFICATIONS

AUDI A5 SPORTBACK 2.0TFSI QUATTRO 2012

WHEEL HYPER FORGED>> HF-C10 F:20×10.5J R:20×10.5J Finish:Brushed/
Clear Black Disk+Chrome Rim
TIRE PIRELLI>> P-ZERO F:285/25R20 R:285/25R20
SUSPENSION KW>> Ver.1 Adjustable Coilover
BRAKE STOPTECH>> Trophy Kit F:6-piston Caliper
+380mm Rotor
ENGINE KELLENNERS>> Tuning Module
EXHAUST Fresh Inc.>> Original Exhaust System
EXTERIOR AUDI S5>> Front Grille/ R Diffuser,
ADD PERFORMANCE>> Carbon F Lip Spoiler,Head Light/
Tail Lens Protection Film

4 ダウンパイプから交換したフレッシュインク・オリジナルエキゾーストとケレナース製モジュールの組み合わせで、高い瞬発力とターボらしからぬ高音域の伸びを響かせながらストリートを駆け抜ける。5 奥さまの美紀サン、お嬢さんの莉朱菜(りあな)ちゃんと一緒に取材に応じてくれた落合サン。若くしてクルマだけでなく、家も家族も手にした幸せ者だ。



クリーンにまとめることが実は一番難しく、一番A5SBを輝かせるのだと、今回の取材を通して改めて実感させられた。ディフューザーも4本出しとなるS5用を流用した。

アウディきっての人気者であるA5スポーツバック(SB)には、愛好者も多ければパーツも数多存在する。だからモディファイする側には選択肢が多くて選び放題というメリットがある反面、「ほかのA5SBとどこか似てきてしまうかも」って要素もあるから、いろいろと難しかったりするのが実情だ。

フェイスリフトを受けてすぐの段階でA5SBオーナーとなった落合サンもこのへんの事情を察知して、「パーツの付けすぎは、ほかの5番と似てくる危険がある。となるとパーツの足し算は控えめにして、全体の雰囲気を整えることにパワーをかけよう」と決意。こうして3年の時間をかけて育ててきたのが、ご覧のSBの5番なのだ。

KWの車高調で落としたフォルムを際立たせているのは、ハイパーフォードのホイール。20×10.5Jという太目サイズのHF-C10は、ブラッシュドの上からクリアブラックをコートした、オーダーホイールならではの特注カラーでアテンションを集めまくる。特にクリアブラックカラーは狙い通りの色調がなかなか出せず、メーカー側もかなりの試行錯誤を繰り返した末の仕上げだそうで、その甲斐あって、何物にも似ていない大いなる個性を発揮している。

ほかにもADDのカーボンリップスポイラーやS5専用パーツでディテールを整え、ケレナースのモジュール、フレッシュインクのエキゾースト、ストップテックのブレーキで

動力系&制動系もチューンすれば、ジェントルな見た目からは想像し難い高音の効いた排気音と、ノーマルとは明らかに出足が違うスピード感までもが楽しめる段取りに。「以前は国産セダンでUS系カスタムを楽しんでいましたが、縁があって知り合ったフレッシュインクのおかげでユーロの楽しさに目覚めることができました。直感で選んだA5SBですが、スタイルはいいし、とにかく楽しめてます(笑)」と、落合サン。

過激な足し算から脱却して厳選したパーツのみで構成された洗練のSBから、新たな5番の可能性が見えてきた!!

